



「まつの子ぐみ(2歳児のための親子プログラム)」実施中。

# 母親といっしょに広げる世界。 のびのび遊んで、ゆっくり育てよう。

常磐大学幼稚園では2000年度から、幼稚園入園前の2歳児を対象にした親子プログラム「まつの子ぐみ」を短期大学の授業(課題研究)として実施してきました。今年度からは、幼稚園の事業として、利用者の要望を取り入れながら内容をより充実・拡大して、子ども自身と親子のコミュニケーションを段階的に育むための支援を行っています。

子どもの成長をゆっくり「待つ」、幼稚園へ上がるのを「待つ」、そして本学ゆかりの「常磐松」の3つの思いをつなげた「まつの子ぐみ」。母親と一緒に遊びながら、同い年の子どもたちと触れ合うことによって、少しずつ集団生活に慣れ、入園前に社会性の基礎を



あたらしいあそびをおぼえたよ!

おないどのおともだちができたよ!

育むプログラムです。今年、5月から翌年2月までの計54回を実施予定です。

おままごとや楽器などにはじまり、水遊びなど、季節にあわせた企画や幼稚園を囲む豊かな自然を活かした遊びなど、月ごとにテーマを定め、家庭の場からさらに多様な遊びを体験させ、子どもたちの興味の幅を広げます。また子ども同士や親子間だけでなく、2歳児の子を持つ親同士の交流が広がることも期待されています。さらに同一キャンパスに大学・短大が併設されている地の利を活かし、幼児教育の専門教員に、子どもの発達や食事、障がいなどについていつでも相談できる環境も大きな特徴となっています。



## 「まつの子ぐみ」の1日

様々な遊具とのびのびと遊べる空間で、元気いっぱい!

プログラムの大きな特徴は、子どもに無理強いないこと。自由に遊ばせて、興味が向いたらいっしょに歌や遊戯を楽しんで…。親子それぞれのペースで、プログラムをゆつたりと楽しみます。



大きなキッチンセットやダンボールのトンネル、初めて見るお道具やセットにみんな興味津々。



机を集めて小麦粉粘土遊び。グニュグニュ不思議な感触を楽しんで、子どもたちの目が輝きます。



大豆インクを使って、ママといっしょに手形をベタリ。赤、青、黄色の小さな手がいっぱいです。



休憩のおやつを食べた後は、歌やお遊戯、そして紙芝居。静かな子どもも活発な子どものびのびしています。

## 2歳児に生活のリズムが生まれた。 自主性を育むいい機会。

澤田 友揮様・真寛君

常磐大学幼稚園に長男が登園して  
たときから、「まつの子ぐみ」の活動は  
知っていました。子どもの自主性を尊重  
してくださる先生方の方針に共感し、次  
男と参加することにしました。子どもに  
とっても私にとっても、非常にいい刺激  
をいただいています。粘土や絵の具など  
を使った遊びはどうしても汚れてしま  
うので家庭では敬遠しがちなのですが、  
ここで体験させていただけるのであり  
がたいです。同じ2歳児と長い時間いっ  
しよに遊んでもおもちやを貸しあったり  
することも、なかなかない機会だと思

ます。私にとっては、つい忘れかけてい  
た2歳児の遊び方や育て方を思い出さ  
せてくれる場でもあります。

先日の「まつの子ぐみ」の帰りには、そ  
の日に習った歌を口ずさめるようにな  
っていました。そうした小さな変化を  
日々見守るのも楽しみです。そして何よ  
り、3日おきの開催なので、子どもに生活  
リズムや目的ができてつつあることがす  
ばらしいと感じました。「明日はお友だち  
と先生に会える、そのためには明日の準  
備をして…」といった自主性がそこから  
少しずつ育まれることを願っています。



遊びを通して親子のスキンシップが深まります。



様々な遊具を興味の  
赴くままに楽しめます。



ママが見守っている安心感で  
のびのび遊ぶ真寛君。